

# 仕組んで仕掛ける ICT マネジメント

## ー 推進計画の策定からシティセールスと学校での定着までー

篠原 真(相模原市教育センター)

概要：市立小・中学校における学校の情報化を推進にあたり、教育委員会事務局としてどのような仕組みを作り、どのように仕掛けていけばよいのかマネジメントの視点から考察する。

キーワード：推進計画、マネジメント、プログラミング

### 1 はじめに

教育委員会事務局の指導主事が、情報教育を推進するにあたり、何をどうマネジメントしていけばよいのか。8年間の経験をもとに、仕組みと仕掛けの必要性について述べていく。

### 2 仕組み

#### (1) 行政の流れ

仕事を進める上で、「きちんと計画を立てること」「その成果を出すこと」は、至極当たり前のことだが、これを学校で問われることはあまりない。行政では、計画と成果の無いものには予算は付かない。ICT 機器等環境整備等予算額の大きいこの分野では、これが大前提となる。

また、予算取りについては、前年6月には評価が行われるため、それまでに関係課長会議等教育局内外の合意を得ておく必要がある。

#### (2) 推進計画 (H29~31年)

本市では、市の総合計画に合わせて3年周期で学校の情報化推進計画を策定している。

#### ① 施策1：情報活用能力の育成

- ア ICTスキル基準表を改訂し、周知する。
- イ 義務教育段階におけるプログラミング教育について、市立小・中学校での授業実践を推進し、その事例集を作成する。
- ウ 改訂した情報モラルハンドブックを用いた系統的な指導について、市立小・中学校で検証する。

#### ② 施策2：ICTを活用した授業改善

- ア タブレットPC等のICTを活用した「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業づくりの基礎研究を行う。
- イ 1人1台タブレットPCを利用する等、ICTを活用した授業改善について研究校を設置し、次世代の学校の実現に向けた準備を行う。
- ウ 情報教育マイスター制度(仮)の導入と活用について検討する。

#### ③ 施策3：校務の情報化

- ア 大規模災害に対するリスク管理のため、外部委託による情報資産データのデータセンター化を推進する。
- イ 小学校の校務支援システム導入を検証する。
- ウ ワーク・ライフ・バランスの改善を目指した校務の情報化システムの構築を検討する。

### (3) 進捗管理

計画は立てたが、その後は何も確認しない、見直さないことがないように、年間3回教員と行政職員で構成する学校の情報化推進検討会

(他に作業部会2回)を実施し、進捗状況や今後の方向性を検討し、教育局内や教育委員へ報告している。ここでどれだけの成果があったかをアピールできるかが予算取りの鍵となる。

### 3 仕掛け

#### (1) シティセールス

ただ進捗を管理しているだけでは成果を上げることが難しい。全ての事業をまんべんなくやるのではなく、選択と集中が必要である。

##### ①施策1：イ：100人1歩のプログラミング

推進計画作成後、9つの取組の中で集中的に取り組むものとして、どの自治体も取り組んでいなかったプログラミングを集中的に取り組むことにした。また、学校での定着のため、モデル事業校ではなく、小学校全校での一斉実施に挑戦することにした。

#### (2) 学校での定着

掲げた計画や目標を実現するためには、9つの取組が学校で定着することが必要である。

##### ①学校ごとの情報化推進計画

学校の情報化推進計画が絵に描いた餅にならないように、学校毎の推進計画を作成するため、109校の情報教育担当者を対象に、情報教育の推進計画とICTスキル表を実際にPCを操作して作成する研修を実施した。また、年度末には進捗状況を確認し、今年度各学校の教育計画に掲載している。

##### ②研究会との連携

プログラミング、情報モラル、タブレットPCの活用等を推進する上で、研究会との連携は大変重要になってくる。計画の実施、目標の実現、取組の検証の多くは授業を行うことで分かるものである。授業を行うことで初めて成果が得られるわけで、その授業実践の場である研究会には協議の段階から参加している。

##### ③施策1：イ：プログラミング研修

平成29年度は、小学校4年算数で全校実施することを決め、情報教育担当者ではなく、4年担任を対象に夏休みに研修を実施した。指導案、ワークシート、授業動画を用意したことで、72校全てが実施することができた。

##### ④施策2：ア：イ：タブレットPC1人1台

1人1台の成果は全国的に実証されていることから、モデル校では実際に全校に導入された場合に必要な、教室の設備や人の配置等の仕組みについて検証している。

##### ⑤施策3：イ：訪問サポート研修

平成31年度に小学校へ校務支援システムを導入するにあたり、平成29年度よりモニター校で試行を行ってきた。今年度は、円滑な導入が図れるよう未導入57校に訪問研修を行い、専用エクセルシートを使用して、2学期以降システムと同様な成績処理を行う。

##### ⑥施策3：ア：情報セキュリティ監査

平成17年度にセキュリティポリシーを策定し、平成23年度からセキュリティ監査を実施している。6年周期で全校修了したことから、平成29年度からは、提出資料をA4・1枚に削減し、3年周期で実施している。

### 4 マネジメント

マネジメントの語源は「なんとかする」であるが、そのためには人に頼らない仕組みを構築することが必要であり、具体的な目標や集中的な取組といった仕掛けを行うことで、人を「やる気にさせる」ことができる。これにより人は、閉塞感が無くなり、自分の立ち位置が分かることで能動的に活動することができる。情報化に限らず、仕組みと仕掛けにより人がどう動き、どういった成果が得られるのかをスタート時点でイメージできるかが鍵となってくる。